

ジュニアスポーツ指導員資格専門科目カリキュラム

	科目名	内容	時間数			
			講義	実習	自習	計
基礎	ジュニア期のスポーツの考え方	子どもたちを取り巻く問題点と運動・スポーツの必要性 (社会環境、体力運動能力の低下、心の問題) 今日の子どものスポーツ指導の問題点とその対策 (間違った指導による傷害・疾病・心理的障害) 本来のスポーツのもつ人間への影響 (幼少年期のスポーツ・運動経験が及ぼす影響) 大人のスポーツと子どものスポーツの違い (保護者の子どもスポーツに対する考え方) スポーツのやりすぎ、燃えつき 望ましいライフスタイルと運動・スポーツの関係 コーディネーション能力を高める運動の必要性	1.5		1.5	3
	ジュニアスポーツ指導員の役割	事業の背景と理念(本講習会が目指すもの) 本事業が目指すジュニアスポーツ指導員像 ジュニアスポーツ指導員に求められる能力	1.5		1.5	3
	子どもの発達とコミュニケーションスキル	個人差の容認(誰にでも長所と短所があることを認める) 対象者の目線に立つ(一緒に楽しむ) 「コミュニケーションの3V」の法則 積極的傾聴(質問、聴く、ペースング、承認、深める、まとめる、沈黙など) 観察、洞察 アドバイス リクエスト	4		2	6
乳幼児期	動きの発達とスキルの獲得(基本的動作の習得)	移動系の運動スキル(這う、歩く、走る、跳ぶ、泳ぐ、滑る) 平衡系の運動スキル(転がる、ぶら下がる、よじ登る、まわる) 操作系の運動スキル(掴む、投げる、捕る、打つ、蹴る)	3		2	5
	運動あそび・ゲームの実際	親子のあそび・ゲーム 1人でできるあそび・ゲーム グループでのあそび・ゲーム コーディネーション能力を高める運動を含む				
児童前期	動きの発達とスキルの獲得(動作の習熟)	移動系の運動スキル(這う、歩く、走る、跳ぶ、泳ぐ、滑る) 平衡系の運動スキル(転がる、ぶら下がる、よじ登る、まわる) 操作系の運動スキル(掴む、投げる、捕る、打つ、蹴る) 運動組合せ	3		2	5
	運動あそび・ゲームの実際	あそびや運動(ごっこあそび、ゲーム、運動あそび、スポーツ)の種類とそれらの発展のプロセス 幼少年期に必要とされる動きと、それらの動きを用いた運動の仕方 運動あそびやゲームの実際 コーディネーション能力を高める運動を含む				
児童後期	動きの発達とスキルの獲得(スポーツスキルの上達)	時間的調整、空間的調整、力量的調整からなるスポーツスキルの習得	3		2	5
	スポーツスキル獲得の実際	蹴る 投げる、打つ、捕る 滑る 叩く 走る、跳ぶ 泳ぐ、巻く、漕ぐ たたきつける、引いて押す コーディネーション能力を高める運動を含む				
青年前期	動きの発達とスキルの獲得(より専門性の高いスポーツスキルの習得)	運動組合せのスムーズな展開	3		2	5
	スポーツスキル獲得の実際	基本的な運動組合せ スポーツ種目特有のスキル(サッカー、野球、スキー、テニス、陸上競技、水泳、柔道、ダンス) コーディネーション能力を高める運動を含む				
指導実習	指導実習		8		0	8
	評価 筆記					
			27		13	40